

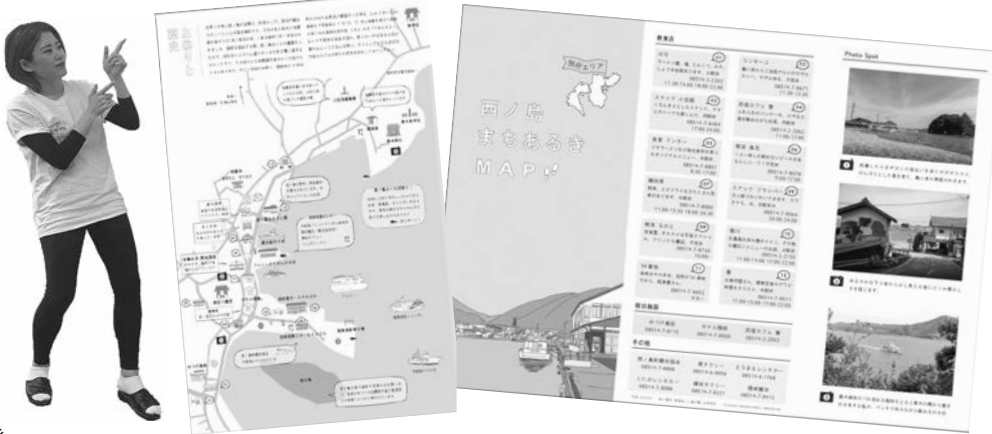


こんにちは。地域おこし協力隊の山田です。暖かくなってきたので、この一か月ほど自転車や徒歩で通勤していました。景色を見ながらのんびり移動するのも悪くないなと思いつつ、荷物が多い時や、急に雨が降った時などは不便なので車がいちばん。移住するまでは電車で5駅の職場から運動がてら歩いて帰っていたはずなのに、慣れると徒歩10分の距離でも車に乗りたくなりますね…

4月は主に動画編集の勉強をしていました。協力隊の活動でできたらいいなと思ったのと、個人的にも興味がありチャレンジ。島の景色や生活を写真だけではなく映像でも発信していきます。また、西ノ島や隠岐で長く続いている文化も映像にして伝えることで残していけたらと思っています。内容については、これから広報や協力隊公式SNSでお伝えしますので、ぜひチェックしてください！

Instagram  
@nishinoshima\_chiikiokoshi  
フェイスブック  
【西ノ島町 地域おこし協力隊】  
ツイッター  
@nishinoshina\_ok

そして、以前から作成していた西ノ島まちあるきマップが完成しました。どういう風にするかを一から考え、お話を伺いに行ったり、印刷会社さんとやりとりをしたり、初めてのことが多く勉強になりました。反省点はたくさんありますが、なくなり次第バージョンアップできたらと思います。マップは役場や観光協会に設置しますので、見つけたら手に取ってみてください。



地域おこし協力隊  
山中 淳子

### わがとこにゆうす vol.17 (5月放送)

西ノ島小学校入学式 / 春の交通安全運動 / 西ノ島の春

● 6月放送分については、過去の「わがとこにゆうす」のダイジェスト版を予定しています。



こんにちは。海や山の色がだんだんと濃くなり、初夏の空気が感じられるようになりました。西ノ島で迎える初めての季節です。車の運転もだいぶ上手になり、カメラを持って景勝地へ出かける機会も増えました。遠出ができない離れた場所へ住む友人へも西ノ島の美しさを写真や動画で共有し喜んでもらっています。

4月の編集映像ではたくさんの子どもの姿が見られました。これまでの撮影活動で半数ほどは顔を覚えることができました。子どもたちの話を聞いたり遊ぶことも趣味のひとつなので、日常生活が取り戻せた時にはたくさん子どもたちとお話する機会が持てたらと思っています。

映像「春の交通安全運動」の最後に学童保育で集った子どもたちに「わがとこにゆうす！」のタイトルコールをしてもらいました。いつも、お願いすると練習なしで一発OK！とても嬉しい瞬間です。

さて、この春に新たに西ノ島へ転入されてきた方もいらっしゃると思います。コロナの影響で取材活動を縮小している中ですが、6月放送予定の「ダイジェスト版」で西ノ島の魅力を発見してもらえたら嬉しいです。

○ 「わがとこにゆうす」は自主放送「西ノ島チャンネル」(11CH)で放送している情報番組です。更新情報は「西ノ島町情報アプリ」内「お知らせ」でも。

● 本コーナー、西ノ島チャンネル、「わがとこにゆうす」のお問合せ先 TEL: 08514-6-0105 MAIL: kikakuzaiseika@town.nishinoshima.shimane.jp (企画財政課)

# イギリスのお城シリーズ～第4弾～

すがすがしい初夏の季節となりました。皆さんお元気でお過ごしですか。

今回はイギリスのお城シリーズの第4弾で、スコットランドにある「エディンバラ城」を紹介したいと思います。エディンバラ城はスコットランドの首都、エディンバラを代表するランドマークの1つで、人気の観光地ですが、駐留部隊のいる数少ない城でもあります。お城はキャッスル・ロック（英：Castle Rock）と言う、高さ約130メートルもある岩柱（がんせん）の上にありますので、エディンバラ市の景色を一望することができます。他、市内の色々なところからもお城が見えます。今は海外への渡航を勧めることはできませんが、落ち着いてからはぜひこの城へ行ってみてください！



国際交流員  
ウォン・チンイン・クレオ

## エディンバラ城 英：Edinburgh Castle



エディンバラ城は世界遺産として登録されている「エディンバラ旧市街」\*1（英：The Old Town of Edinburgh）にあります。城は今、エディンバラを象徴する主要な観光名所として一般公開\*2をしていますが、以前はスコットランド王家の宮殿であり、重要な軍事要塞でもありました。12世紀から使われていたこの城は、エディンバラの歴史を見届けてきた古代からの要塞です。

エディンバラ城の中にはセント・マーガレット教会堂（英：St. Margaret's Chapel）と言う、12世紀に建設された小さな教会堂があります。この教会堂は城内だけではなく、エディンバラで最も古い建物でもあります。以前は王家の礼拝堂でしたが、今は結婚式や洗礼式などに多く使われ、一般見学も可能です。

城内で一番人気のスポットはおそらくスコットランド王家の王冠や宝石などが展示されているクラウン・ルーム（英：Crown Room）です。即位の宝器である王冠、王笏おうしやくと剣は1543年のスコットランド女王、メアリー・ステュアート（英：Mary, Queen of Scots）から、1651年のチャールズ2世の戴冠式たいかんしきまで使われた、イギリスで現存する最も古い王家の象徴です。私もこのクラウン・ルームに1回しか入ったことがありませんが、あのキラキラと輝く王冠とダイヤは一度見たら、忘れられません！

## ロイヤル・ミリタリー・タトゥー 英：Royal Military Tattoo

毎年8月に、世界有名の「ロイヤル・ミリタリー・タトゥー」\*3がエディンバラ城で開催されます。「タトゥー」と言いますが、刺青と全く関係がなく、軍楽隊の行進曲の事です。その起源は軍隊の帰営の合図だそうです。1950年から開催されているこの軍楽隊のパレードは、民間団体や海外の団体も参加しています。バグパイプとドラムの演奏以外に、スコットランドの伝統的なハイランドダンス（英：Highland Dance）も鑑賞することができます。このスコットランドの伝統が集結する、壮大で壮観なイベントですが、残念ながら私は一度もライブで見たことがありません。なぜかと言うと、チケットはすぐ売り切れるからです！

\*1 平成7年（1995年）に「エディンバラの旧市街と新市街」（英：Old and New Towns of Edinburgh）として登録されました。

\*2 現在は新型コロナウイルス感染拡大防止のため臨時休業中です。

\*3 今年は新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催中止です。